

東ティモールYMCA支援

平和な国づくりのために



日本の岩手県ほどの大きさ。山が多く、主な産業は農業と漁業。

東ティモールは独立後10年を経過しましたが、独立抗争による、子どもや青年たちの心の傷や暴力の問題、失業、貧困などは、いまだに厳しい状況があります。

そのような中、東ティモールのYMCAでは平和な国づくりのため「未来に向けての人材育成」が大切だと考え、様々な活動が行われています。



首都ディリのYMCAではユースの活動、サッカー、コンピュータ、音楽などのクラスと図書館が運営され、地域の人々の集う貴重な拠点となっています。山岳地域では地元の人々と共にコーヒー豆の栽培が行われ、地域産業を持続させることで、人々の生活の自立を支援しています。



人気スポーツのサッカーが、活動の主軸の一つとなっています。250名のメンバーが所属し、毎日グラウンドで練習しています。東ティモールユース代表選手にYMCAのチームから4人が選ばれました。現在コーチをしている青年もナショナルチームの選手です。



2012年と2013年の夏には日本のYMCAでサッカー指導を行っているYMCAのスタッフが現地を訪問し、ユースや子ども達への指導を行いました。YMCAではサッカーを通して「信頼関係を築き、相手を思いやり尊敬する」ことを大切にしながら、協調性、責任感、行動力、想像力を育みます。サッカーを通じた教育が平和な国づくりにつながるよう、支援や交流をします。



東ティモールYMCAの活動に皆様から寄せられた募金が用いられています。